

ディアデラノビア



2002年1月28日生 牝 栗毛
父:サンデーサイレンス
母:ポトリザリス(母の父:Potrillazo)
早来・ノーザンファーム生産
調教師:角居勝彦(栗東) 馬主:(有)キャロットファーム

末脚自慢の良血娘



2005年、角居勝彦厩舎ではシーザリオが日米オークス制覇という偉業を成し遂げたが、同厩舎には、そんな歴史的名牝と比べても「実力は遜色なし」との高評価を背負いながら駆けた馬がいた。大種牡馬サンデーサイレンスを父に、アルゼンチンで年度代表牝馬に輝いたポトリザリスを母に持つ良血馬ディアデラノビアだ。生涯獲得賞金は現実にシーザリオを上回り、桜花賞とNHKマイルカップを制したラインクラフト、秋華賞馬エアメサイアに次いで同期の牝馬では第3位。十分に胸を張れる実績といえるだろう。

活躍の源となったのは差し脚だ。見るからに瞬発力を秘めていそうな筋肉質の馬体には高い心肺機能も埋め込まれていて、レースではいつも長く鋭く脚を使った。大外一気を決めたフローラステークス、後続を4馬身突き放した京都牝馬ステークス、馬群をこじ開けて伸びた愛知杯と、いずれも鮮やかなラストスパートを繰り出して重賞3勝をあげている。いっぽうで、7回もの3着を重賞で記録。うち3回がGIと、大レースでは惜敗の悔しさを味わうばかりだったが、それでも常にライバルたちを脅かす渾身の切れ味を披露したのが、この馬の真骨頂だ。

たとえばオークスでは、外から追い込むシーザリオと馬体を接するようにして伸びて、コンマ1秒差の3着。まさに「実力は遜色なし」を立証する走りだった。2006年の第1回ヴィクトリアマイルでは、内から抜け出したダンスインザムードをエアメサイアとともに猛追、鬼気迫る末脚でスタンドを沸かせた。結局は届かず、エアメサイアにも振り切られて3着に敗れたものの、粘る先行勢をしっかりと捉えてみせた。その年のエリザベス女王杯でも、カワカミプリンセス、フサイチパンドラ、スイープトウショウ、アサヒライジングらと直線を広く使った壮絶な追い比べを演じている。

ほかにも、中山牝馬ステークスではヤマニンシュクルの2着、府中牝馬ステークスがデアリングハートとサンレイジャスパーに肉薄しての3着など、牝馬限定重賞の常連として戦い続けたディアデラノビア。またダイワメジャーを懸命に追った読売マイラーズカップ、バランスオブゲームやコスモバルクと並んでゴールを駆け抜けたオールカマーなど牡馬相手にも決して後れを取らずに渡り合った。

娘のディアデラマドレはマーメイドステークスと府中牝馬ステークスを制し、愛知杯では母娘制覇を達成している。が、GIではエリザベス女王杯の3着が最高と、母と似た戦績を残した。いつかこの血筋が、悲願ともいえるGIタイトルに届く日を、いまは待ちたいところだ。

2005年★第40回サンケイスポーツ賞フローラS(GII) 後方待機策から直線で大外に持ち出されたディアデラノビア(馬番15)が、ゴール寸前でライバルたちをまとめて差し切った。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
2004.12.12	阪神	2歳新馬	芝1600	1	1:36.1	武幸四郎
2005. 1.15	京都	白梅賞	芝1600	1	1:36.5	安藤勝己
3. 5	阪神	チューリップ賞(GIII)	芝1600	7	1:36.1	安藤勝己
3.13	阪神	報知杯フィリーズレビュー(GII)	芝1400	4	1:21.3	安藤勝己
4.24	東京	サンケイスポーツ賞フローラS(GII)	芝2000	1	2:01.8	武 豊
5.22	東京	優駿牝馬(GI)	芝2400	3	2:28.9	K.デザーモ
2006. 1. 5	京都	スポーツニッポン賞京都金杯(GIII)	芝1600	6	1:34.4	武 豊
1.29	京都	京都牝馬S(GIII)	芝1600	5	1:33.9	武 豊
3.12	中山	ローレル競馬場賞中山牝馬S(GIII)	芝1800	2	1:48.0	岩田康誠
4.15	阪神	読売マイラーズC(GII)	芝1600	3	1:36.5	岩田康誠
5.14	東京	ヴィクトリアマイル(GI)	芝1600	3	1:34.4	岩田康誠
9.24	中山	産経賞オールカマー(GII)	芝2200	3	2:12.1	岩田康誠
10.15	東京	府中牝馬S(GIII)	芝1800	3	1:47.5	北村宏司
11.12	京都	エリザベス女王杯(GI)	芝2200	3	2:11.7	岩田康誠
12.10	香港	香港C(GI)	芝2000	7	2:02.4	福永祐一
2007. 1.28	京都	京都牝馬S(GIII)	芝1600	1	1:33.0	岩田康誠
4. 7	阪神	サンケイスポーツ杯阪神牝馬S(GII)	芝1400	3	1:21.0	岩田康誠
5.13	東京	ヴィクトリアマイル(JpnI)	芝1600	6	1:32.8	岩田康誠
6. 3	東京	安田記念(GI)	芝1600	14	1:33.3	岩田康誠
7. 6	米	キャッシュコールマイル(G2)	芝1600	5	—	岩田康誠
10.14	東京	府中牝馬S(GIII)	芝1800	4	1:45.9	横山典弘
11.11	京都	エリザベス女王杯(GI)	芝2200	4	2:12.5	武 豊
12.15	中京	愛知杯(GIII)	芝2000	1	1:58.9	C.ルメール
2008. 1. 5	京都	スポーツニッポン賞京都金杯(GIII)	芝1600	13	1:34.6	武 豊
2. 9	小倉	小倉大賞典(JpnIII)	芝1800	10	1:48.4	C.ルメール

※レース名は当時の表記による

2007年★第2回ヴィクトリアマイル(JpnI) 前年3着の雪辱を果たすべくレースに臨んだディアデラノビア(帽色・白・手前)だったが、自慢の末脚が不発に終わり6着に敗退。

